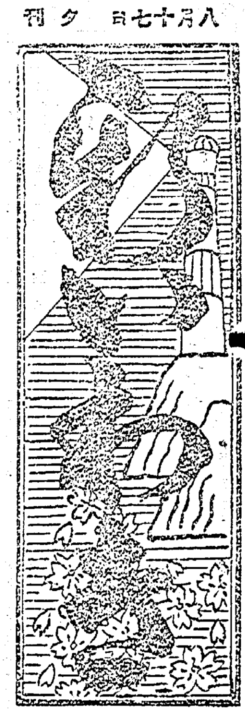
八月十七日 夕刊



[illegible]
發行兼編輯印刷人 半谷政[illegible]
發行所 福島縣平町大町二三 新いわき新聞社

常識講座

オーナー、ドライバーは自分が所有する自動車を自らハンドルを握つて運轉する人を云ふ歐米諸國では殆んどこれで珍らしくないそうだが我が國でも近年ポツ／＼增えて來てゐる

郵便局からのぞく 盆と大衆の懐工合
景氣は大して良くないが順調
だが購買力は引立たぬ

舊盆にも剰すところ後六日になつた石城地方の大衆金融を平郵便局の爲替貯金取扱ひにのぞいて見ると去る十五日頃から預金は受よりも拂が弗々増加して平常一日四、五千圓の受に對し五、六百圓位づゝ少ない拂が二千五百圓から三千圓の預金に四千五百圓乃至五千圓を拂戻してゐる此の外同局では石城、双葉各局の支拂資金を供給してゐるが此の方面も漸く頻繁な動きを見せて平常六千圓程度のものが七八千圓に増加し來る廿日頃から愈よ本格的の動きに這入れば平日の二倍乃至三倍の支拂ひに上るだらうとのことである此の出入關係を昨年に較べると一割方少なく農村に於ける春の繭安苦が深刻に窺はれてゐるが去る七月中の預金取扱高を前年同期に比較すると

本年五三〇四口 十二萬一千六百二十三圓の受に對して支拂が一九二四口 十萬九千八百三十圓◇昨年は四九八六口 十二萬三千八百二十七圓の受で拂戻は一九八二口 十五万一千五百七十圓

で今年は預金高に於て二千二百四圓を減じてゐるが拂戻では實に四万一千七百四十圓を減少し併も受の口數に三一八を増して拂の口數に五八を減じてゐるのは喜ぶべき態で夫れだけ範圍を擴めた大衆の懐工合がよくなつたものと見ることが出來て景氣は大して良いとは云へぬ迄も順調に進んでゐるものと見られもする次の爲替は左記の如く七月中の取扱高を比較せば今年は受が殖えて拂の減少してゐる所を見ると一般の緊張によるものか購買力は其の割合でないことが窺はれてゐる

今年七月受一四〇四口（一二一五）三三四一〇圓（二七二六五圓）拂一四八四口（一六八二） 五五〇五八圓（六四三六六圓）以上

賣れる今年の佛具類 金ピカより地味な品
經濟更生に緊張させられて 新盆の贈り物も實質的へ

平町の盆景氣は大衆の懐工合がよかりそうだと云はれる割合に引立たず一般商人は豫想までの賣上げに漕ぎつけべく愈よ本格的の賣出しを開始される模様であるが店頭の賑かさは何と云つても佛具屋で三丁目丸ほん商店に今年の景氣を聽えて見る

佛具の賣行きには景氣も不景氣もありません、年々信仰心が厚くなるのでせう段々値段ものを望まれて來てゐます、大して高いものも出ないが安いものは尚ほ出ません、不景氣だからと此方から安いものを作つてはお客の方から叱言を頂く樣な譯です、以前の樣な金ピカ物は歡迎されず地味な品の堅い物がはけてます、經濟更生に緊張させられたのでせう新盆の贈物にも提灯よりは佛具を使ふのが多くなつた樣です、謂はゞ實質的になつたとでも云ふものでせうか、

中の作埋立計劃 認可促進の運動
町長外二町議等出縣して

石城郡江名町では中の作築港船曳場脇に於ける同町役場前の海岸を埋立て六百坪の陸地を造つて宅地に利用する外同埋立てによつて西南に擴められる船曳場から直ちに漁船を曳揚げる計畫で滿場一致町會の決議を終ると同時に認可申請を縣に差出したが之れが實現運動のため昨十六日午後四時平驛發磐越東線で河野町長並び町議太清左エ門、遠藤勝爲三氏出縣し今十七日朝縣土木課並に知事を訪ねて次第を陳情した

石城販利総代員 選擧立會人

石城販賣利用組合に於ける總代員の滿期改選は來る二十日關係各町村一齊に行はれるが平町では午前九時から午後三時まで町會議室に於て投票される選擧立會人は左記二氏を決した

佐藤伊太郎 大谷久藏

愈よ近づく鐵道 現業委員選擧

平驛を中心とする現業委員選擧は驛側に於ては同驛の樓上で機關庫、保線區、檢車所、車掌は各會議室で來る二十二日午前八時から午後四時まで投票される驛關係の定員は三名で之れに對し左記四名立候補し若干の競爭はあるが平驛の二候補は當選確實と見られ機關庫は定員二名に對し未だ柴田良三氏一名の名乘あるのみ保線は定員一名に山崎清一車掌は杉本吉男氏の再選となるらしく檢車所は一名の定員にまだ出馬を見せない現在の模樣では無競爭かと觀測されてゐる尚ほ開票は二十三日水戸事務所に於て行はれると

驛側候補平驛中根秀四郎（庶務）加藤長作（操車）綴驛郡司泰三郎（操車）湯本驛佐藤宏（操車）以上

米價は下値向だが 歩みは極めて緩い
重視される政府の第二回拂下 割合に希望少ない籾解除

石城地方の米價は天候回復と共に下値向きとなり五等建値一俵十圓二十錢位を普通相場とされてゐるが地廻りものは割合に下らず一駄十八圓五十錢位を唱ひ向後の見越値は政府の第二回拂下米の影響を重視されるのみで一時生産當業に騷がれた飯米不足による籾貯藏の解除は愈よ解除されるとなるや豫想した程の希望がなく縣下廿五万石の貯藏に對して漸く十万石の解除に止まつてゐる之れは今解除すれば一石に對して七十一錢の助成を受けるのみなるも十月まで辛棒せば更に一圓六十八錢餘を加算される採算の結果らしく從つて出荷漸を免かれず下落したにしても緩い歩みでないかと觀られてゐる

醫學集談會

平町磐城共濟病院醫學集談會は明十八日午後七時半から同院醫局に第六回の例會を開催されるが今回の演題は左記の如くである

ナルコポンスコポラミン慢性中毒患者の一治驗例に就て 同院平賀一忠氏

丹毒に對するカンチロス療法に就て 同院坂本貫一郎氏

宮田翁の 講話（三）
加波山事件の

文責は記者

當時三島は神田四國町に家を有ち毎月二、三回は栃木から歸つて來るので暗殺を引受けた保多、河野、琴田の三人は其の附近のマッチ屋の小倍となりたるもの其他適當に姿を變へて彼の動靜を探り機會をねらつたが油斷のない三島の往復がどうしても判らぬ。そこで如何にせば彼を除けるかの相談を市中では出來ないので舟をかりて品川沖に乘出し密談をこらして見たが此の上は現地（栃木）に行かうと云ふことで琴田を先づ偵察に立て同時に知合ひを作つて置かなければ足留まりに困るので共れも出來た後に一同が栃木へ乘込んだ、懇意になつた家の主人は久八郎と云ふ男であつたがなか／＼注意深い人で私共の擧動に不審を抱き早くも秘密に氣付たものと見え君等が此の地へ何を爲すに來てゐるかを知つてゐると先手を打たれたので大体の計畫を明かし語り合つた結果は却つて腰が落着いて靜かに其の時機の到るを待つことになつた、そして目的には一人ばかりを除いた所で仕方があるまい。小勢で大勢に當るには大きな器械（ダイナマイト）が要るそれを造らうと云ふので私が共の任に當つたのである、共の間同志は群馬、福島へ遊説したり有志を訪ねては歸つて居つたものだ、共の中にダイナマイトも出來上り試驗の結果は非常に好成績であつた、そう斯うする間に栃木の縣廳が宇都宮へ移轉することになつて開廳式には大臣參議が來ると云ふのを聞えて私共は時機いよ／＼到來せりと勇んで である

× ×

大町廣場で 花相撲
來十九日から毎夜四日間

平町字仲間町七二青木森之助氏は昨今の殘暑を夕涼みながら樂まう余興に花相撲を思ひ付き同町大町通り團体事務所脇の町有地を借り來る十九日から二十二日まで四日間地元天狗の取組みを試むべく右敷地の借入を町役場に願出で前記の通り開催されることになつたが毎夜午後六時から十時まで勝負は五人抜き又は七人抜きを演ずる由である相當の見ものであらうと

精神異狀の青年 毒藥自殺

石城郡飯野村の谷川瀨字吉の作農遠藤勝平（三）は昨十六日午後十一時半頃寢床に於て猫イラズを服し苦悶し居るを父市太郎が發見平町諸橋博士の手當を受けたが絕命平署の檢視を受けた死者は本年四月頃から精神を異狀し常に死を口走つてゐたものであると

魚ツリを見て 轢かれる
今朝藤原川鐵橋で

石城郡湯本町の八仙居住坑夫某の父子が今十七日午前八時頃磐崎村に境する藤原川鐵橋下に到り伜が橋下に釣するを橋の上から見てゐた父六十九才が折柄通行の汽車のために右腕を轢斷橋下に轉落して頭部を強打し即死したので大騒ぎとなり急報と同時に平署から檢視の爲めに係官出張した

お盆の大賣出し
新型品を取揃へて御座います
在荷豊富で値の安い店
（會津桐）（自製専門） 小松履物店
平町警察署通り 電話六七三番
お盆の御用意には特に勉強
景品で人氣を求めぬ代りに品ご
値段をみな樣の驚くほどお安く

謹告

東京日日新聞平支局相本信一郎君今般郡山支局長に榮轉近日中赴任の筈に付同君の爲左記により送別會開催、多數御出席相仰度此段謹告致します、尚御出席の方は當日正午迄平町役場記者室宛御申込下さい

發起人 平町長 青沼鋒太郎
平署長 横山宗延
平日刊記者團 當番幹事

期日 八月十八日午後六時
會場 谷口樓
會費金貳圓也

産業方面

桃果の採收に就て

【6】縣農試石城分場長　齋藤技師

觀測時	後八時	後十時	零時
紙包無填充	二九、五	二九、四	二八、七
紙包鋸屑詰	三一、〇	二九、八	二八、五
紙包木綿詰	三一、九	三〇、八	二九、三
氣溫	三一、八	二五、二	二四、二
地上に放置	二八、四	二六、四	二五、八
觀測時	前二時	前四時	前六時
紙包無填充	二七、三	二五、四	二五、〇
紙包鋸屑詰	二七、四	二六、八	二六、二
紙包木綿詰	二八、一	二六、七	二六、五
氣溫	三三、九	三三、二	二三、五
地上に放置	二四、一	二三、五	二三、六
觀測時	前八時	前十時	零時
紙包無填充	二六、三	二七、二	二九、二
紙包鋸屑詰	二六、二	二七、二	二八、五
紙包木綿詰	二六、五	二六、九	二八、一
氣溫	二八、二	三〇、八	三二、二
地上に放置	二八、三	三一、〇	二五、四

以上によつて見るに日中採收して直ちに包裝した場合は採收そのまゝ地上に放置した場合に比して果實溫の低下は著しく緩漫となるものであります、荷造したものは夜中でも氣溫の最低點近くまで冷却しないものであります、日沒後採收した場合でも直ちに荷造する時は果實溫の下降は緩やかで相當時間を持續するのであります、

第四表、離核水密桃を日沒後採收直ちに箱詰したもの

〻溫度の變化

觀測時	後八時	後十時	零時
紙ほう無填充	三一、一	二九、八	二八、八
紙ほう鋸屑詰	三一、七	三〇、六	二八、八
紙ほう木綿詰	三三、二	三一、〇	二九、四
氣溫	三一、八	二五、二	二四、二
觀測時	前二時	前四時	前六時
紙ほう無填充	二七、六	二六、五	二五、八
紙ほう鋸屑詰	二七、八	二六、九	二六、〇
紙ほう木綿詰	二八、二	二七、五	二六、〇
氣溫	三三、九	三三、二	二三、五

パラソルと日傘

例年御定評を頂く當店特選の

優秀な新柄を豊富に取り揃へて

ツルヤ　電一四〇

靜岡本場　小笠銘茶

大角園特約

半谷商店

内科、小兒科

大森醫院

入院需應

醫學士　大森勇

平町南町　電二五八番

磐城代表銘酒

合

美味經濟

ヤマフル醬油

山崎合名會社

電話十番

故金子木南氏十三回追悼會通知

福島民友新聞平支局長として往年石城政變に際し故渡邊寅次郎氏と憲政會（民政黨全身）の爲め孤軍奮鬪した金子信三氏（木南）大正十一年舊七月十四日物故し十三回忌に當るので來る舊七月十四日（二十三日）平町長橋町性源寺に於て金子氏の十三回追悼會を催すことになりましたから多數御來會を願ひます、

當日は金子氏の實姉高橋みの氏も列席いたします

本廣告を以て通知に代へます、

石城民政部會

福島民友新聞平支局

父白鴻院新盆佛事上小川村生家に於て相營み可申候處誠に乍勝手供物一切辭退申上候

白井一郎

耳鼻咽喉科專門

醫學士　鈴木正男

平町田町（電話五八番）藤田女學校前

入院應需　鈴木醫院

新時代の要求

附屬事業に等外看護婦部を特設いたし皆樣の御用向へ身元確實なる婦人を派出致します

平町南町　電三〇七

平看護婦會

會長　清野キヨ

經濟的な御便宜ご用命をお願致升

御手不足の御家庭輕い御病人の付添姙婦産婦の御家庭

磐城名産特賣所

御土産物には郷土の名産が第一

石城みやげ　七濱の生産品　地元産の果實

平みやげ　名菓各種

平町驛前

スペインG・H・N元詰

ゴルフポートワイン

甘味葡萄酒　1・10

御婦人の方には少し水を加へて召し上ると風味一そう佳良です

（平2）　西村屋藥舖　（電3）

店主が店員を連れて行かれる

正しい食堂

正しい喫茶

正しい酒場

平田町　レストランサロン　電三六二

債券　公債　両替　金融

多田井質店

平町大工町　電話五九一番

新設、電話二二番

何卒御利用の程を……

平町紺屋町一一

上原家政婦會

（産婆）上原通子

賣り行き盛んなる

強力殺虫劑

ネオマツゾール（噴霧器付）

（汽車印）片腦油（白製品）

（秤ウリ）強力「ハイトリ粉」

容器御持參のこと

夏季、衛生藥事の御相談は是非……弊店へ

（漢方家傳）胃腸藥發賣元

山野邊藥局

藥劑士　山野邊東次郎

一般印刷物も御引受致します

新いわき新聞社